

**西区地域子育て支援拠点事業
令和4年度重点目標評価結果・令和5年度重点目標**

事業実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日(2年度目/5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人シャーロックホームズ 西区こども家庭支援課
事業目的	市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。 【事業・施設運営の基本理念】 1 西区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

令和4年度重点目標の評価

令和4年度重点目標	西区の子育てを支援する人及び区内の専門機関や団体とのネットワークを強化し、区内の子育て環境の向上をめざすとともに、妊娠期からの支援、ひろばには来られない人への支援に取り組む。
取組内容	・地域の子育て支援を実施している団体との連絡方法を改善して、より緊密に連絡をとれる体制にします。 ・地域の子育て支援者向けの講座を実施し、支援者のスキルアップを図るとともに、支援者同士の連携を図ります。 ・子育てパートナーのアウトリーチを増やし、ひろばに来られない当事者の声をキャッチし最適な支援へと結びつけます。 ・プレママパパ向けの事業を強化します。 ・ひろばに来られない層に向けたオンラインを活用した支援に取り組めます。
取組の成果	・年初に公式アカウントとは別に、「スマイル・ポート連絡用」のLINEアカウントを取得し、子育て支援を実施している団体や、主任児童委員などと緊密に連絡をとれる仕組みを構築した。結果として、地域の子育て支援活動者の要望に即時に応えてSNS発信につなげたり、ニーズを把握することができたりするなど、前年より関係性が深まった。 ・秋に2回、地域の子育て支援活動者向けの講座と交流会を実施し、支援者のスキルアップを図るとともにお互いの情報交換ができる場を作った。 ・子育てパートナーのアウトリーチについて新たに赤ちゃん教室や子育て支援者会場の全会場を回ることで、拠点の利用の有無に関わらず養育者の相談を受けることができた。また各地区の出前合同育児講座にも参加することで、地域ごとに違う養育者の相談傾向を把握することができた。 ・区委託のプレパパママクラスを拠点で実施することで、出産後のスムーズな拠点利用につなげることができた。拠点主催のミライデーは、妊娠週数や居住区を問わず、妊婦やパートナーを受け入れることで、より幅広いプレパパママ層に拠点を体感してもらうことができた。 ・養育者の関心の高い保育園や幼稚園イベントをはじめ、アレルギー講座や栄養の講座などについても対面及びオンラインでの開催にすることで、より多くの養育者に受講できる機会を提供することができた。
取組の課題	・地域の子育て支援活動者が、LINEやメール等のSNS機能を活用した活動もできるようにサポートが必要。 ・講座開催時のみならず、日頃からの支援者同士のつながりをもっと深めていく取り組みが次年度以降必要。 ・オンライン講座(ハイブリッド)はコロナの影響とは関係なく、今後も実施していくことが必要。

次年度重点目標

令和5年度重点目標	多様化している養育者のニーズに対応するため、様々なテーマのイベントを充実させるとともに、こども及び養育者同士が交流できる仕組みを構築する。
取組内容	・養育者の関心が高いテーマのイベントを予約不要で複数回実施する。 ・これまでに形成してきたネットワークを活かし、ダブルケア、発達に心配がある養育者、障害児等の支援を充実させる。